



# 試合結果レポート

【試合名】 第14回 三多摩ジュニアユースリーグ

2008/5/17

土 曜日 晴天

グラウンド名 調布3中

	スクデットF	1	0 (前半) 1 (後半)	1 0	1	ARTE八王子FC
得点者(得点数) 星愛輝1		得点				
	スクデットS	1	1 (前半) 0 (後半)	1 1	2	ARTE八王子FC
得点者(得点数) 大久保悟		得点				

## 早田コーチからの総評

【F】 残念な試合だった。崩されての失点ではなく、バックパスの雑さからキーパーがうまくクリアできずに(空振り)

OWNゴールでの失点だった。一つは丁寧なバックパスが要求されるし、一つはノープレッシャーだったにもかかわらずあわててダイレクトで蹴ろうとしてしまったキーパーの判断ミスの修正も求めたい。胸でコントロールしてからでも十分にクリアする時間はあったと思う。

前半はたくさんの注意事項が発生してしまった。勇也や久米の集中力のなさが一つ。次にどんな状況になるのかの予測が出来ていないことが多い。攻守両面で自分の近くに来たボールに対して反応するという後手になっていて、まったく試合に入っていない。特に勇也は今回だけではなく常に次の状況への準備が出来ていない。ボール回しの練習でも準備不足でミスるのがほとんど。次への準備を常にしておく習慣が必要だ。ただ、後半はその言葉が効いたのか予測からボールを奪うシーンも見られた。愛輝は基本的に雑なプレイが多いんだけど、少しずつ丁寧さが出てきた。後半の粘り強いディフェンスから得点したのは素晴らしい。チーム全体で見習いたいディフェンスだった。

全体を通してまだまだ雑さが目立ってしまうね。それが自分達の首を絞めることになってる。非常にもったいない。丁寧に早く広いところに持って行って相手ディフェンスが守りにくいボール回しができるようになりたい。

【S】 どういうチーム編成かはわからないけど、【F】が戦ったチームとは違うチームで攻守ともに早く上手いチームだった。

前半はまだ攻撃のシーンも見られたけど、後半はほぼ守備ばかりの戦いになってしまった。ポジションを変えたことも攻撃のリズムを作り出せなかった要因かもしれない。ディフェンス面では相手トップ下に対するプレッシャーが甘くて、ディフェンスラインのちょっと前に基点をたくさん作られてしまった。そこに対してこれからプレッシャーをかけてその次をどう対応していくかを考えて実行していこう。1点目のキャッチミスは生吹は注意して欲しい。厳しい言い方だけど、それが無ければ引き分けで勝ち点「1」は取れたわけだからね。勝ちが難しい場合はミスをなくしてなんとか引き分けには持っていけるような戦いもできるようになりたい。

4-5-1にして両サイドバックを設定したけど、昨日の試合ではほぼ機能してなかった。まだまだ4バックをやり始めたばかりだからしょうがないけど、これから頑張って攻撃を厚くしていこう。まあ3バックでも厚くしていかないと相手に威圧は与えられないから3バックでも攻撃参加を積極的にしていこう。